

決算語録

関西圏成長へ 食品で利益を



成長ドライバーと位置付
ける関西圏について「売上
高、店舗数ともに目標達成
に向けて順調に推移してい
る。存在感は
強固になりつ

つある」と話すのはパロー
ホールディングスの小池孝
幸社長。5府県で91店舗、
売上高は前年同期比32・6
%増の203億7600万
円まで伸びた。

関西で出店した都市型生
鮮特化スーパーの八百鮮と
たこーについて「チラシを
まかななくてもお客さんが行

列を作って待ってくれる。
グロッサリー(一般食品)
はほぼ置いていないのに戦
える。参考になる」と述べ
る。Vドラッグでは「食品
構成比が通常の50%前後に
比べ60%以上。客数と点数
は伸びているが、利益率は
足りていない。食品で集客
し医療品で利益を稼いでき
た事業体だが、食品を入れ
た中で利益を上げなければ
他社に勝てない」と地域特
性を踏まえた戦略を語る。